



# どうして戦争しちゃいけないの？ 元イスラエル兵 ダニーさんのお話

ダニー・ネフセタイ 著  
あけび書房 2024年3月 1600円+税

評者 東 直子

『国のために死ぬのはすばらしい？ イスラエルからきたユダヤ人家具作家の平和論』（高文研 2016.12）、『イスラエル軍元兵士が語る非戦闘論』（集英社 2023.12）に続く、ダニー・ネフセタイさん3冊目の著書。『さいたまの教育と文化』103号「さいたまここに人あり」に、ダニー・ネフセタイさんの記事が掲載されています。

ダニーさんは、平和な社会をつくるための講演活動を保育園、小中学校、高校、大学でも行い、子どもや若者たちは、ちゃんと耳を貸してくれているそうです。この本はそのような若い人たちのためにつくられ、自分たちにも何かできることがある、自分たちの手で幸せな社会をつくれるという希望を伝えたいそうです。

表紙はイスラエルでよく食べる料理のイラスト、パレスチナにも同じような料理があるそうです。ダニーさんが制作した「ちゃぶ台」で、みんなが仲良く食事できる日がくることを願っ

ているそうです。地図からは日本とイスラエルが約9000km離れている位置関係がわかり、イスラエルの面積は日本の四国くらいの大きさ。地図、写真、用語解説、年表、イラストなど資料が多く、わかりやすく書かれています。私たちは誰にでも幸せに生きる権利がある、人権がある、わたしたちは歴史を学んでいるが、歴史に学んでいない、戦争を避ける方法についてはあまり学んでいない、武器ではなく、心を使おうということが書かれています。自分のことだけを考えるのではなく、他の人も幸せになる、嬉しくなることをするのが心を使うこと、これから本当に真っ黒な世の中になるか、それとも希望にあふれる世の中になるかは、私たち次第、希望にあふれる世の中にしたければ、人間としていちばん使わなければいけないのは心なのですと書かれています。若い人たちに読んでもらいたい1冊です。

## 編集後記

▽季刊誌「さいたまの教育と文化」編集の視点の一つは職場の教職員を励ますこと。新採用の方々に宛てた佐藤さん・小沢さん・出水さんのメッセージ、日本被団協の田中熙巳さんの語りはいかががでしょう▽当面する教育課題は馬場所長に「非認知能力」について執筆いただいた▽長く研究所で活躍された白鳥勲さんが4月1日に79歳で亡くなった。彼の生き方から学ぶことはあまりにも多くいまだ整理がつかない（関原）

本誌の発行にあたり、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部から令和六年度教育団体助成事業の助成金の贈呈を受けました。